

専門分野

精神看護学

シラバス

科目名	精神看護学総論	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	1年次後期	担 当		教員	精神科看護師
学習のねらい	精神看護学は、人間のこころの健康問題について、問題解決に向かえるように相談や支援を提供することである。また精神看護の対象は、こころの看護を必要とするすべての人々である。精神障害を持つ人にとどまらず、身体疾患のある人、地域で生活している人など生活している人すべての精神保健も含む。このことから、幅広い精神看護の役割を学ぶ。また精神看護コンサルテーションとしての、看護の全領域にわたるリエゾン精神看護も学ぶ。										
目的・目標	<p>目的;人間の心の働きと人格の理解をベースに、精神の健康及び障害の理解とその予防について理解する。また、精神保健医療福祉の歴史から現在の法制度などの現状の理解と共にリエゾン精神看護についても理解する。</p> <p>目標;1. 精神の健康や障害など精神保健の考え方について理解できる。 2. 人間のこころの動きとストレスとストレス反応の関係と危機への対処法について理解できる。 3. 精神の機能と障害(症状)にはどのようなものがあるのかを学び、症状のとらえ方を理解できる。 4. 看護の主要な対象である家族及び集団の特性とそのダイナミクスについて理解する。 5. 精神保健医療福祉の歴史を振り返り、法制度や精神科医療と福祉の現状について理解できる。 6. リエゾン精神看護の概要と看護における感情労働とメンタルヘルスの必要性を理解できる。</p>										
授業計画	1-3回(45分×6) リエゾン精神看護について 4回(45分×2) 精神の健康 5回(45分×2) 人間のこころの働き 6回(45分×2) 危機介入とストレス理論 7回(45分×2) 精神障害のある人の理解 8回(45分×2) 精神障害者とその家族の理解 9回(45分×2) 精神保健医療福祉の歴史 10-11回(45分×4) 精神保健福祉の法制度①② 12回(45分×2) 地域における精神看護 13回(45分×2) 精神科医療と福祉の現状 14回(45分×2) 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス 15回(45分×2) 筆記試験										
評価方法	試験(60%)、レポート(30%)、出席状況(10%)を総合して評価する										
教科書	精神看護の基礎 精神看護学① 精神看護の展開 精神看護学②										
参考文献	授業で配布する参考資料										
履修要件											

シラバス

科目名	精神看護援助論 I	単 位	1	時 間 数	30	時 期	2 年次前期	担 当 者	精神科医師 教員
学習のねらい	対象の特徴や観察の視点を学習し、精神障害が及ぼす日常生活への影響について理解を深め、その援助の内容について学ぶ。症状別看護では、具体的な場面を通して、対象の心理状態や対応時の留意点について学習する。								
目的・目標	<p>目的;看護を展開していくうえで必要となる精神障害の特徴、検査、治療について学ぶことを通して、精神障害をもつ対象の看護とその必要性について理解できる。</p> <p>目標;1. 各精神疾患の特徴、検査、治療について理解できる。 2. 精神症状がコミュニケーションに与える影響について理解できる。 3. 精神状態のアセスメント方法について理解できる。 4. 各精神疾患のアセスメントと看護の役割について理解できる。</p>								
授業計画	1回(45分×2)．精神科治療の基礎知識 2回(45分×2)．統合失調症について 3回(45分×2)．気分(感情)障害について 4回(45分×2)．神経症性障害、ストレス関連性障害および身体表現性障害について 5回(45分×2)．生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群について 6回(45分×2)．人格障害・器質性精神障害・てんかん・知的障害・発達障害について 7回(45分×2)．臨床検査・薬物療法 8回(45分×2)．精神科看護について 9回(45分×2)．精神症状がコミュニケーションに与える影響 プロセスレコード 10回(45分×2)．精神状態のアセスメントについて 精神症状とセルフケアの両方を捉える 11回(45分×2)．統合失調症 アセスメントと看護 12回(45分×2)．気分障害① アセスメントと看護 13回(45分×2)．気分障害② アセスメントと看護 14回(45分×2)．摂食障害、アルコール症 アセスメントと看護 15回(45分×2)．強迫性障害 アセスメントと看護 筆記試験								
評価方法	試験(80%)、レポート(10%)、出席状況(10%)を総合して評価する。								
教科書	精神看護の基礎 精神看護学① 精神看護の展開 精神看護学②								
参考文献	授業で配布される参考資料								
履修要件	精神看護学総論								

シラバス

科目名	精神看護援助論Ⅱ	単 位	1	時 間 数	30	開 講 時 期	2 年次前期	担 当 者	精神科看護師 作業療法士 教員
学習のねらい	精神看護学総論・精神看護援助論Ⅰの基礎知識を活用して、看護の方法を学ぶ科目である。各経過にある対象の理解とそれぞれの経過の特徴的な看護を学ぶ内容とする。また、精神科病棟・保護室など、その規制によっておこる問題とその対処について考え、対象の人権、人格の尊重という視点を重視する。既習学習の想起と応用、事例展開によって知識の統合し、精神障害をもつ対象の状況に応じた援助の方法を学習する。								
目的・目標	<p>目的;各経過にある対象の理解とそれぞれの経過の特徴的な看護、そして、様々な精神科治療と伴う看護について理解できる。</p> <p>目標;1. 各病期における入院治療と看護の展開について理解できる。</p> <p style="padding-left: 20px;">2. 精神症状とその看護について理解できる。</p> <p style="padding-left: 20px;">3. 様々な精神科治療とその看護について理解できる。</p>								
授業計画	<p>1-3回(45分×6) . 入院治療と看護の展開:急性期</p> <p>4-6回(45分×6) . 精神看護の実践(精神症状と看護)</p> <p>7回(45分×2) . 精神科における看護の役割</p> <p>8-9回(45分×4) . 入院治療と看護の展開:慢性期・回復期</p> <p>10-11回(45分×4) . 精神看護の実践(精神症状と看護)</p> <p>12-14回(45分×6) 精神科治療と看護</p> <p style="padding-left: 20px;">・薬物療法 ・電気けいれん療法 ・精神療法</p> <p>15回(45分×2) . 精神科作業療法</p> <p style="padding-left: 20px;">・リハビリテーション ・国際生活機能分類(ICF)</p> <p>筆記試験(45分)</p>								
評価方法	筆記試験(100%)で評価する								
教科書	<p>精神看護の基礎 精神看護学①</p> <p>精神看護の展開 精神看護学②</p>								
参考文献	授業で配布する参考資料								
履修要件	精神看護学総論								

シラバス

科目名	精神看護学演習	単 位	1	時 間 数	15	開 講 時 期	2 年次後期	担 当 者	教員
学習のねらい	精神科看護の役割の一つに、健康障害によって損なわれた患者の生活を支え、援助していくことがある。その生活への援助が、患者の個別性を考慮したよりよいものとなるために、看護過程を展開する能力が求められる。既習してきた対象への理解とその看護に関する知識を統合させて、精神障害者のアセスメントを系統的に行い、看護計画の立案について理解を目指す。								
目的・目標	<p>目的;既習してきた対象への理解とその看護に関する知識を統合させて、精神障害者のアセスメントを系統的に行い、看護計画の立案について理解できる。</p> <p>目標;</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 紙面事例からアセスメントに必要な情報を読み取ることができる。 2. 読み取った情報を枠組みに従い分類できる。 3. 分類した情報を分析できる。 4. 分析した結果をもとに患者の全体像を把握できる 5. 看護問題の明確化を行い看護計画が立案できる。 								
授業計画	<p>1回(45分×2). 事例紹介</p> <p>2回(45分×2). アセスメントの視点について</p> <p>3回(45分×2). 事例展開 情報収集・情報の整理</p> <p>4回(45分×2). 事例展開 情報収集・情報の整理</p> <p>5回(45分×2). 事例展開 情報収集・情報の整理</p> <p>6回(45分×2). 患者全体像の作成</p> <p>7回(45分×2). 看護診断・目標・計画の作成</p> <p>8回(45分×1). まとめ(アセスメント・援助方法について)</p>								
評価方法	レポート(90%)、出席状況(10%)を総合して評価する。								
教科書	<p>精神看護の基礎 精神看護学①</p> <p>精神看護の展開 精神看護学②</p>								
参考文献	その他、授業で配布する参考資料								
履修要件	<p>精神看護学総論</p> <p>精神看護学援助論Ⅰ・Ⅱ</p>								